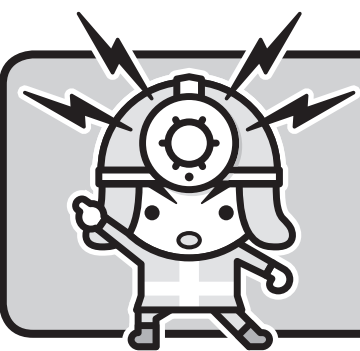




NOHMI ワイヤレス連動型 住宅用火災移報アダプタ

かんたん登録設置ガイド

FSOJ001B-S



注意

本書は、住宅用火災移報アダプタのグループ登録および設置についての簡易説明書です。製品付属の【登録・設置説明書】および【取扱説明書】の内容を必ずお読みください。

機能設定や外部接続機器との接続方法については、付属の黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。

警報器（子器）の登録は、警報器に付属する「かんたん登録・設置ガイド」を参照してください。

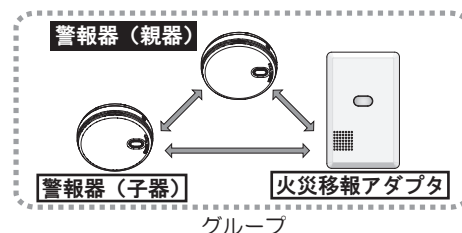
連動可能火災警報器型名
(別売)

FSKJ226 シリーズなど
FSLJ016

登録しよう！

警報器（親器）に火災移報アダプタを登録します。
登録しないと連動できません。

●警報器（親器）に機器を認識させてグループを構成します。



用意するもの

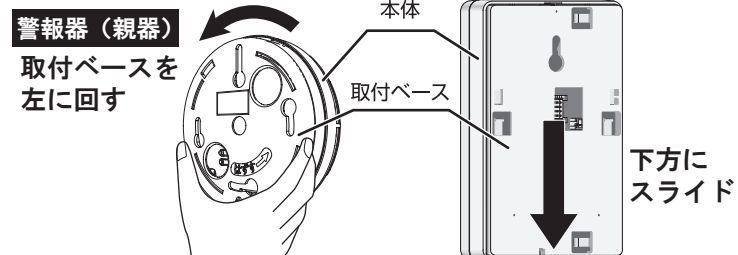
本書は、警報器（親器）をFSKJ226-Mで説明しています。



●ボールペンなどの先が細くて折れないもの（お客様で準備）

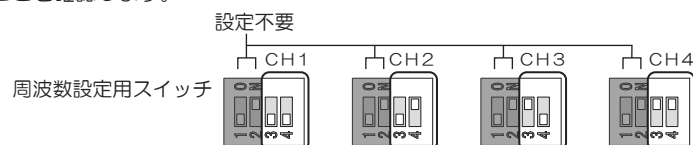
ステップ 1 登録準備をする

取付ベースを本体からはずします。



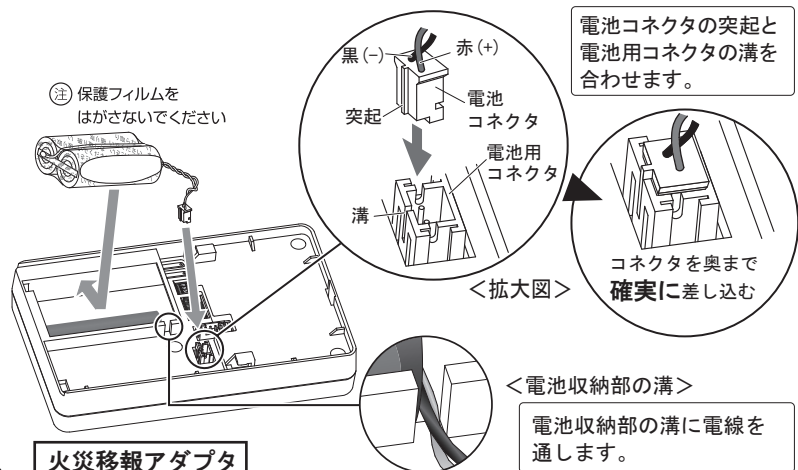
周波数設定を確認します。

登録する警報器（親器）と同じ周波数（無線チャンネル）設定になっていることを確認します。



- 本機および警報器は、どちらも出荷時設定はCH1に設定されています。
- 警報器の周波数（無線チャンネル）は、警報器の「取扱説明書」の 2.1 基本的な登録・消去 の ②無線チャンネルの確認・変更 を参照し、確認してください。

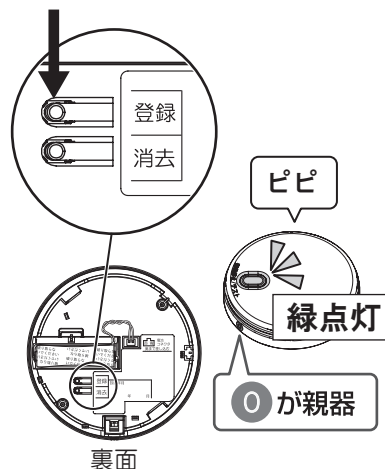
電池コネクタを差し込んでから、
専用リチウム電池を取り付けます。



ステップ 2 親器にすべての火災移報アダプタを1台ずつ登録する

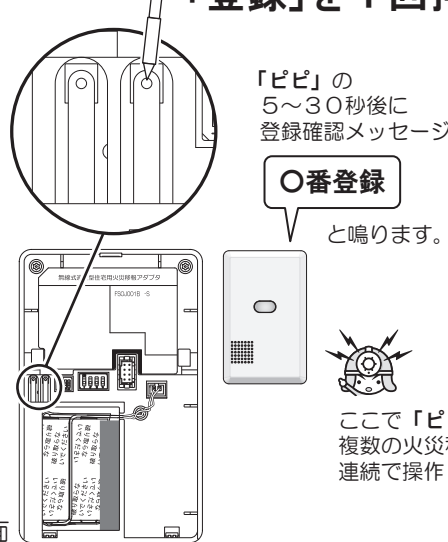
警報器（親器）

1 回押す



1 台目の火災移報アダプタ

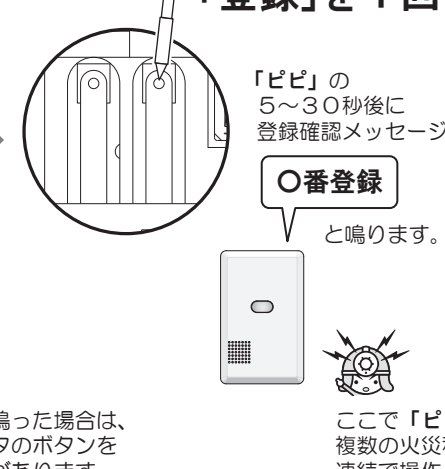
ボールペンなどで
「登録」を 1 回押す



前の火災移報アダプタの「○番登録」が鳴り終わったら

次の火災移報アダプタ

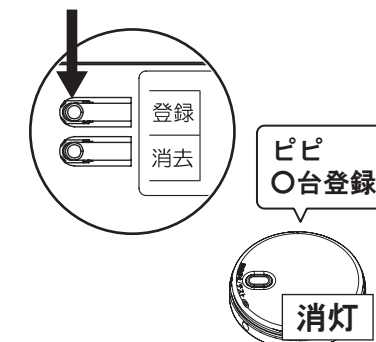
ボールペンなどで
「登録」を 1 回押す



最後の
火災移報アダプタの
「○番登録」が
鳴り終わったら

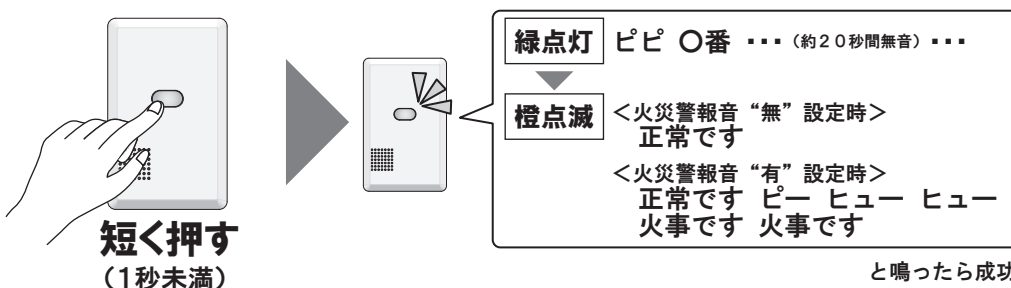
警報器（親器）

1 回押す



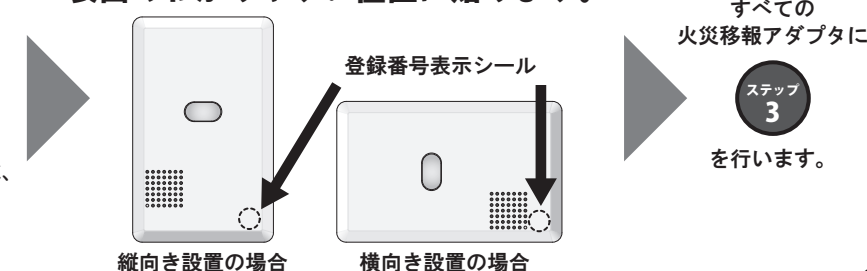
ステップ 3 すべての火災移報アダプタで1台ずつ登録を確認する

火災移報アダプタの『警報停止／テスト』ボタンを短く（1秒未満）押します。



- 「○番」は、テストをした火災移報アダプタの登録番号が鳴ります。
- 2秒以上長押しすると「火災移報テスト」となり、登録を確認できません。
- 違う警報音（「ピピピピ」など）の場合、付属の白色紙【取扱説明書】の 3.2 機能を確認する の ①通信テスト を参照のうえ、対処してください。

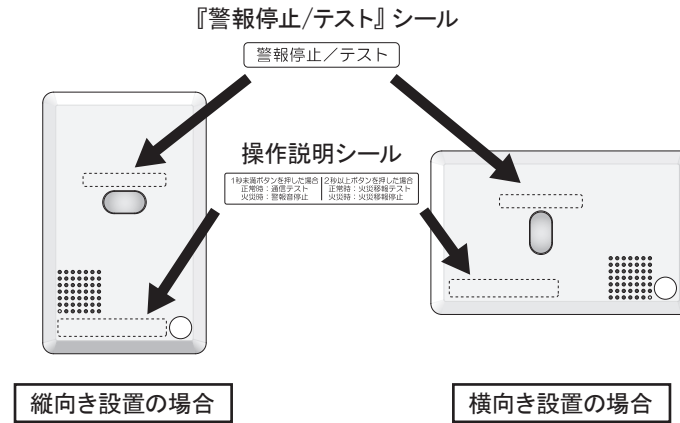
「○番」と同じ番号の登録番号表示シールを
表面のわかりやすい位置に貼ります。



設置しよう！

『警報停止／テスト』ボタンが操作できる場所の壁面に取り付けてください。

『警報停止／テスト』シールおよび操作説明シールは、設置向きにあわせて貼り付けてください。



用意するもの

●火災移報アダプタ本体
(電池取付済み)

●取付ベース
(出荷時に本体に
取り付けてあります)

●シールシート

●取付ネジ

●火災移報コネクタケーブル

●ニッパー
(お客様で準備)

●⊕ドライバー
(お客様で準備)

●油性ペン
(お客様で準備)

●安定した台(脚立など)
(お客様で準備)

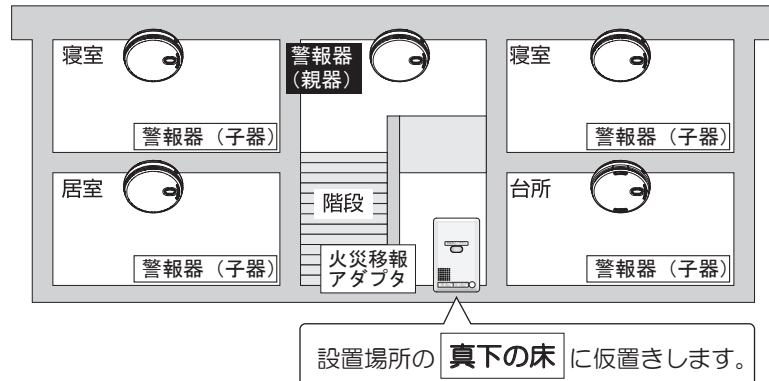
ステップ 1 すべての火災移報アダプタで電波状態を確認する



必ず守る

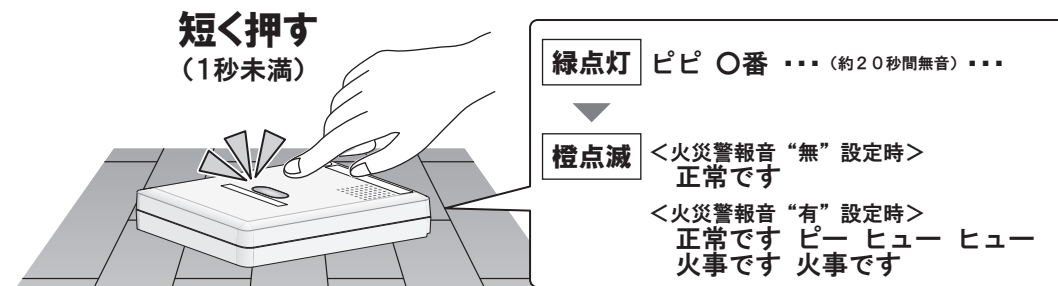
必ず電波状態を確認してから設置する。
電波状態を確認しなかった場合、電波異常となる可能性があります。

すべての火災移報アダプタを
設置予定場所の **真下の床** に仮置きします。



すべての火災移報アダプタで**1台ずつ**
『警報停止／テスト』ボタンを短く(1秒未満)押します。

警報音が鳴り終わってから、次の火災移報アダプタを確認してください。



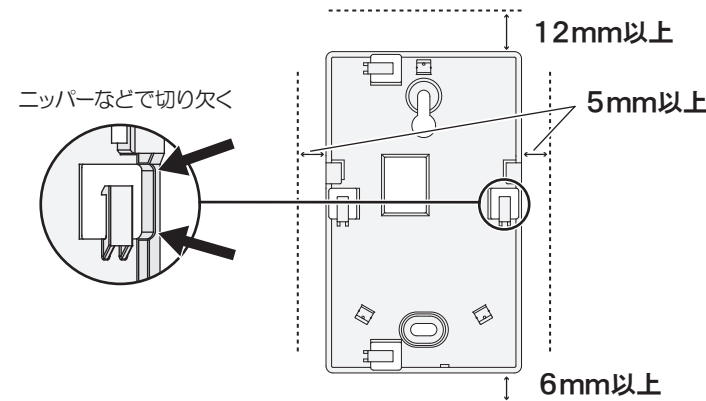
と鳴ったら成功

- 「O番」は、テストをした火災移報アダプタの登録番号が鳴ります。
- 違う警報音(「ピピピピ」など)の場合、付属の白色紙【取扱説明書】の **3.2 機能を確認する** の **①通信テスト** を参照のうえ、対処してください。

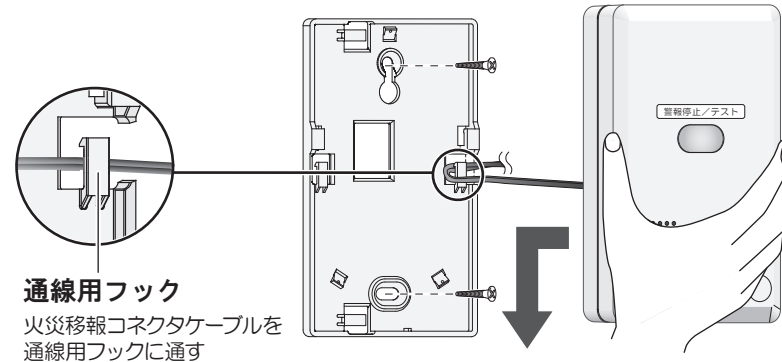
ステップ 2 取り付ける

- 取り付ける前に、本体側面に油性ペンで設置年月を記入してください。
- 火災移報コネクタケーブルを本体に接続します。
- 火災移報コネクタケーブルの通線用として、取付ベース側面のノックアウトをニッパーなどで切り欠きます。(ノックアウトは4ヶ所あります。)
- 詳細は、付属の黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。
- 外部接続機器との接続方法や取付方法の詳細については、付属の黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。

空きスペースを確保します。



設置向きにあわせて、向きを間違えないように
取付ベースを取付場所にネジ止めします。



火災移報コネクタケーブルを挟まないように
本体を取付ベースと合わせ、
矢印の方向にスライドさせてください。

●横向き設置の場合も同じ要領で設置してください。

ステップ 3 動作を確認する(通信テスト)

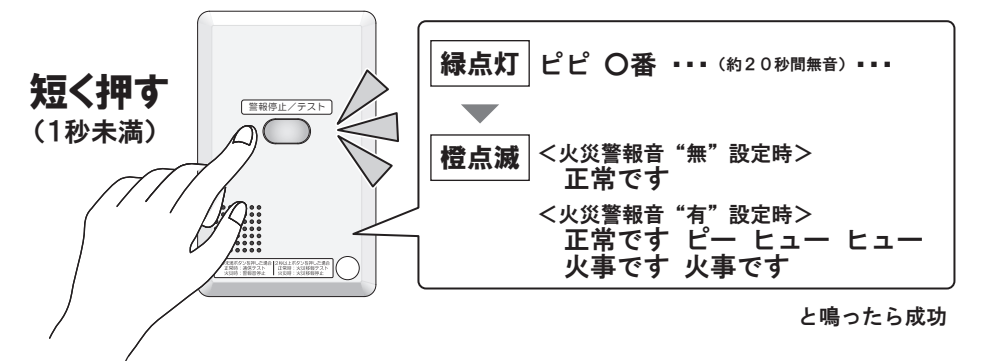


必ず守る

通信テストは省略せず、必ず実施する。
機器の状態は火災移報テスト・警報器からの連動テストでは確認できません。

すべての火災移報アダプタで**1台ずつ**
『警報停止／テスト』ボタンを短く(1秒未満)押します。

警報音が鳴り終わってから、次の火災移報アダプタを確認してください。



と鳴ったら成功

- 「O番」は、登録番号が鳴ります。
- 違う警報音(「ピピピピ」など)の場合、付属の白色紙【取扱説明書】の **3.2 機能を確認する** の **①通信テスト** を参照のうえ、対処してください。



その他のテスト

上記のテストのほか、次のようなテストもできます。

火災移報テスト：外部接続機器に正常に火災移報できるかを
確認するためのテスト。

警報器からの連動テスト：連動時の警報音や動作、外部接続機器との
連動動作などを確認するためのテスト。

- 機能設定により、動作が異なります。
- テスト方法や結果、注意事項などについては、付属の白色紙【取扱説明書】の **3.2 機能を確認する** を参照してください。